

唐丹小学校 授業支援（葉のでんぷん調べ）

日時： 2014年6月18日

場所： 釜石市立唐丹小学校、お茶の水女子大学

参加者： 教員1名

単元： 小6「植物のからだのはたらき」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

お茶大（東京）と唐丹小（釜石市）を、iPadのテレビ電話システムでつなぎ、「葉のでんぷん調べ」単元の実験として、当センターで行っているチャック付袋を使った簡便な方法を紹介した。約2週間後、学校授業で活用していただいた。

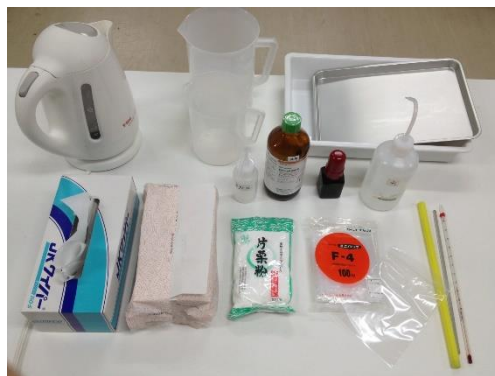
実施結果：

この方法は葉をゆでることなく、湯煎でチャック付袋内のエタノールによる脱色反応を行うため、エタノールが少なく、簡単に行うことができる。安全に行うための注意や、ヨウ素溶液は濃いほうが見やすいこと、ジャガイモの葉が手に入らないときに、代替で使える葉の紹介などを行った。実験の流れをいっしょに見てもらい、お茶大側での実験結果を確認していただいた。通信中に、必要物品を確認し、すぐに送付した。

感想：こうやって実際にやってもらえると分かりやすいので、自分でもやれると感じた。頑張ってみます。



iPad 通信の様子



道具一式

※ビーカーやシャーレは必要ない



実施の様子（唐丹小）